

# ギラン・バレー症候群のため当科で診察・検査を受けた患者さんへ

## 脳神経内科では「ギラン・バレー症候群（GBS）における全国疫学調査—患者数の推定と新型コロナウイルス感染症（Covid-19）との関連に関する研究—」（承認番号 M2023-333）を研究しています

医療の向上のため、患者さんの診療録（カルテ）情報を調査・観察させていただくことがあります。



### ギラン・バレー症候群とは・・・

ギラン・バレー症候群は感染症の後に生じる、免疫学的機序が原因と考えられている神経疾患の一つです。末梢の神経が障害されることにより筋力が低下し感覚が鈍くなります。重症化すると手足が全く動かなくなったり、人工呼吸器が必要になったりします。一部の方は後遺症が残り、また命を落とすこともあり、まだまだ課題の多い疾患です。

新型コロナウイルス感染症(Covid-19)の出現・流行に伴い、新型コロナウイルス感染症と ギラン・バレー症候群 との関連を示唆する報告が出てきていますが、詳しいことは不明なままです。流行が続く新型コロナウイルス感染症およびそのワクチンにおけるギラン・バレー症候群の発症リスクとの関連性は、重要な課題の一つです。

### この研究について・・・

この研究では、ギラン・バレー症候群患者さんの年齢や性別、症状や検査の異常と新型コロナウイルス感染症(Covid-19)の関連性を調査するもので、この研究のために新たな薬の投与や検査を受けていただくことはありません。

新型コロナウイルス感染症が流行する前もしくは流行が始まってからギラン・バレー症候群患者と診断された患者さんの診療情報を解析し、新しい発見がないかの検討を行います。具体的には、病気の経過（いつ、どのような症状から病気が始まったか、どのような感染症を合併していたか）など問診であなたから伺った情報や診察の所見、末梢神経伝導検査、血液検査、髄液検査の情報を使わせて頂きます。

※患者さんの情報は個人情報保護した形で、主たる研究機関である千葉大学院医学研究院脳神経内科、

共同研究機関である慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター 生物統計部門に提供します。

※この研究の成果は、個人情報保護した形で学会や論文で発表されることがあります。

※この調査は、「ヘルシンキ宣言」や「疫学研究に関する倫理指針」に従って倫理委員会の承認の下で実施されます。

### 対象と調査期間

調査対象となるのは、2017年1月1日～2022年12月31日の間に当院脳神経内科で診察・検査を受け、ギラン・バレー症候群と診断された患者さんの情報です。調査を行う期間は、倫理審査委員会承認後より2025年3月31日までです。

### 個人情報の保護について

患者さんの個人情報を守ることは「個人情報の保護に関する法律」に定められています。あなたの氏名などの個人を特定する情報は調査の対象とはならず、一切公表されることはありません。

### 利益相反について

本研究は厚生労働省科学研究費（難治性疾患克服研究事業）を用いて行われています。研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、利益相反マネジメント委員会に申告を行い、承認されています。

### この研究へのご協力について

この研究のための費用を患者さんが別途負担することはありません。また、ご協力いただいた場合の謝金はありません。

本調査に同意されない方は担当医までお申し出ください。同意されないことをお申し出になられた場合でも、そのために治療を変更するなど、治療上の不利益を受けることは一切ありませんのでご安心ください。また、一旦同意されたあとでも、同意されない旨の申し出はいつでもできますので、担当医までお申し出ください。

調査実施責任者：脳神経内科 教授 横田 隆徳

ご意見、ご質問などがある場合は担当医または下記窓口までお問い合わせください。

調査に関する問い合わせ窓口：脳神経内科医局（平日9時～17時） TEL (03) 5803-5234

苦情窓口：東京医科歯科大学医学部総務掛（対応可能時間帯 平日9時～17時） TEL (03) 5803-5096

東京医科歯科大学病院